

スマートエスイービジネス領域における プログラム拡張の提案

吉岡大輔

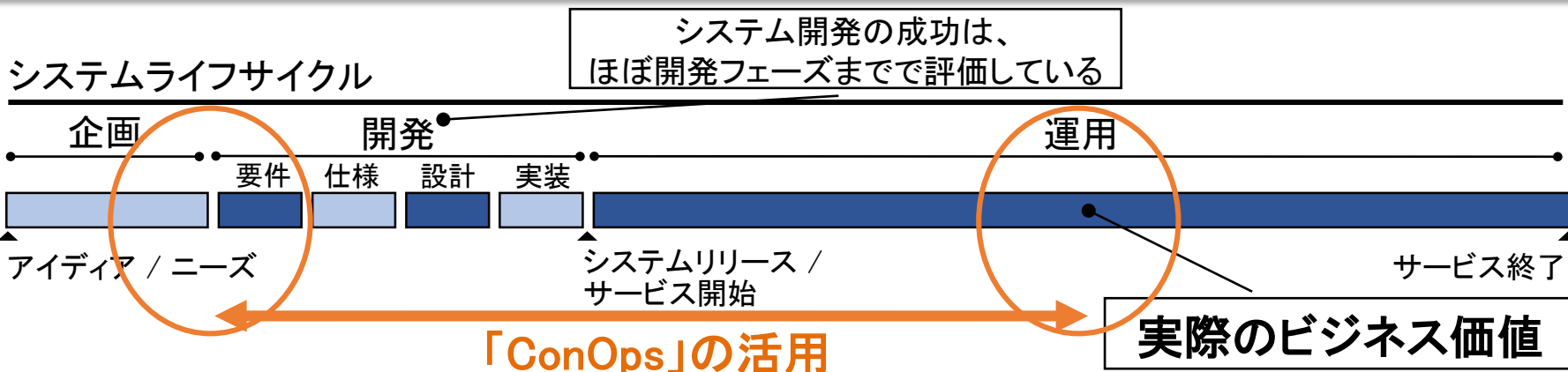
システム開発における課題点

- 本来のシステム開発はビジネスの成功(経営ゴールと戦略)から始まる
- 一方、システム稼働後に「どれだけ経営ゴールに貢献出来たか」といったビジネスの成功と紐付けて評価されることが少ない

手法・ツールの適用による解決

- 解決策の1つとして、ゴール思考のGQM + Strategiesがある
- 上記をより強化するための具体的なアイデアとして、ConOps (Concept of Operations) を紹介する

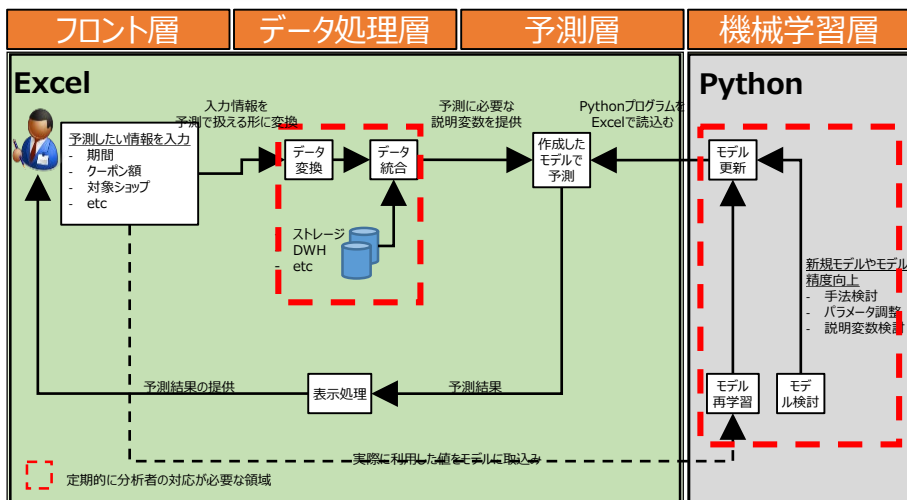
システムライフサイクルにおけるConOpsの活用



ConOpsとは?

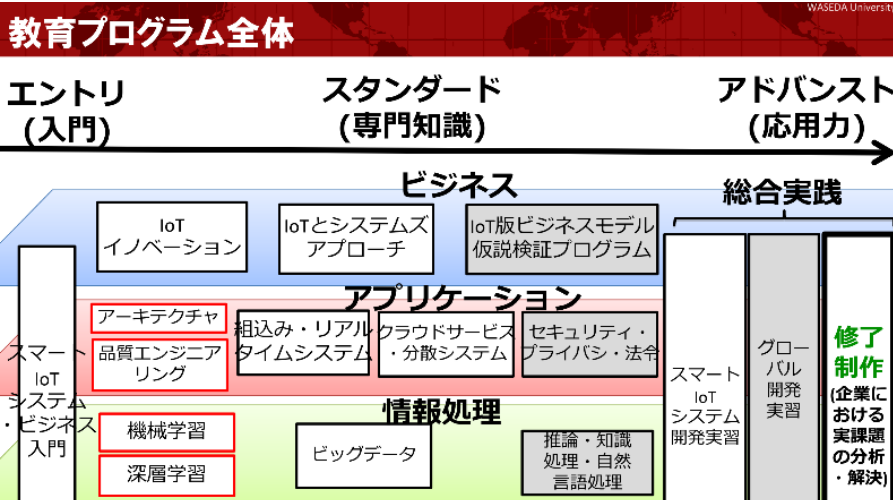
システム開発において、ビジネスコンセプトの設計段階から運用も視野に入れた開発手法として体系化されたもの (NASAやDoDで実際に使われている)

運用に重点を置いた開発事例



- 機械学習モデルを一般社員も容易に扱える様に、Excelを用いた運用基盤を開発
- 2週間の開発期間で、5億円の利益効果を生み出した

スマートエスイー強化の提案



- 現在のビジネス領域は、上記ライフサイクルの企画～開発領域の前半部分を中心としている
- ConOpsの概念を取り入れる事で、現行のプログラムが強化され、ビジネスの成功へとつながる